

ひなん じゅんび
避難までの準備

5日前 ぼうさい かくにん ふそく
防災グッズの確認をしておきます。不足があれば買い出しへいきます。

ひなん お
避難所に置いていない、おじいちゃんやおばあちゃんが
ふだん
普段から飲んでいる薬を病院に受け取りにいきます。



けいたい じゅうでん
携帯電話やスマートフォンを充電しておきます。

ひなん ひなんしゅだん かくにん
ハザードマップで避難場所や避難手段を確認しておきます。



4~3 時間前 ひなん ひなん
いつでも避難できるように、避難できる
ふくそう きが
服装に着替えます。



④-1) 避難先のチェック

やること（その1）：

住んでいる場所の位置を資料2の「1」に記入

避難先・避難経路を考え資料2の「1」に記入

やること（その2）：

避難先を資料3の「③」に記入

考え方のポイント！

避難先として、下記が考えられます

- ・ 洪水ハザードマップの避難所・浸水しない親戚、知人の家
- ・ その他（近くの浸水しない場所など）

※住んでいる場所を避難先として考えられる場合

：住んでいる場所の浸水深が浅い かつ

：住んでいる場所の浸水継続時間が短い かつ

：家屋倒壊等氾濫想定区域に該当していない



浸水範囲が広い場合は近くの市町村の
洪水ハザードマップも確認してみよう！

参考にするもの：

資料2「1 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」

書くところ：資料2の「1」、資料3の「③」

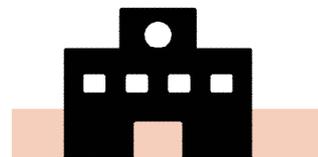
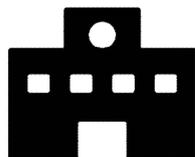
考えてみよう！

こんなときあなたはどちらに避難しますか？

A. なし

避難先の浸水想定

B. あり



④-2) ^{ひなん}避難先のチェック

やること：

^{ひなん}避難先までにかかる時間を考え、^{しりょう}資料3の「③」に記入

考え方のポイント！

住んでいる場所から^{ひなん}避難先まで^{ひなんけいろ}避難経路で^{いどう}移動する場合にか
かるおおよその時間を考えてください。

^{いどう}移動にかかる時間の目安は下記のとおりです。

^{とほ}徒歩) 4km/h 車) 30km/h

^{さんこう}参考にするもの：

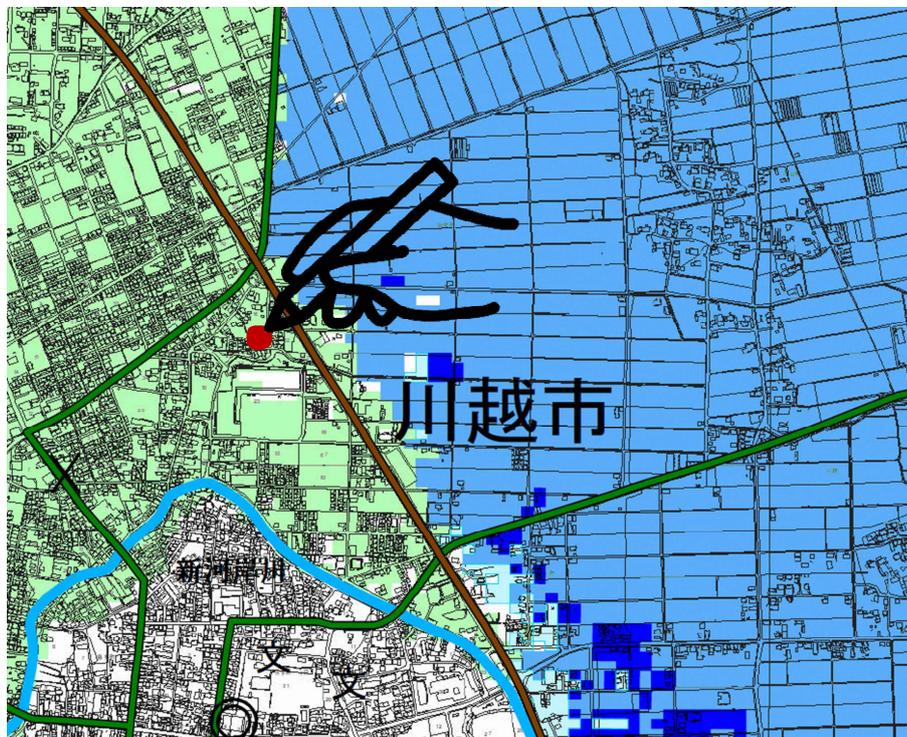
^{しりょう}資料2 「1 ^{こうずいしんすいそうていくいきず}洪水浸水想定区域図 (^{そうていさいだいきほ}想定最大規模)」

書くところ：^{しりょう}資料3の「③」

⑤-1) 時間軸^{じく えら}を選ぶ

やること :

資料^{しりょう}2の「5」に住んでいる場所を記入



参考^{さんこう}にするもの : 資料^{しりょう}2 「5」 時間軸^{じくせんたく}選択図

書くところ : 資料^{しりょう}2の「5」

⑤-2) 時間軸を選ぶ

やること(その1) :

住んでいる場所が影響を受ける氾濫が発生するまでの時間軸を選ぶ

●住んでいる場所が

「【荒川】治水橋の範囲内」の場合

氾濫発生までのおおよその時間 (避難の目安)	
避難判断水位到達	4時間前
氾濫危険水位到達	3時間前
氾濫発生	0時間

●住んでいる場所が

「上記以外」

の範囲内」の場合

氾濫発生までのおおよその時間 (避難の目安)	
避難判断水位到達	3時間前
氾濫危険水位到達	2時間前
氾濫発生	0時間

やること(その2) :

選んだ時間軸を資料3に記入

参考にするもの : 資料2 「5 時間軸選択図」

書くところ : 資料3の「時間軸を記入しましょう」

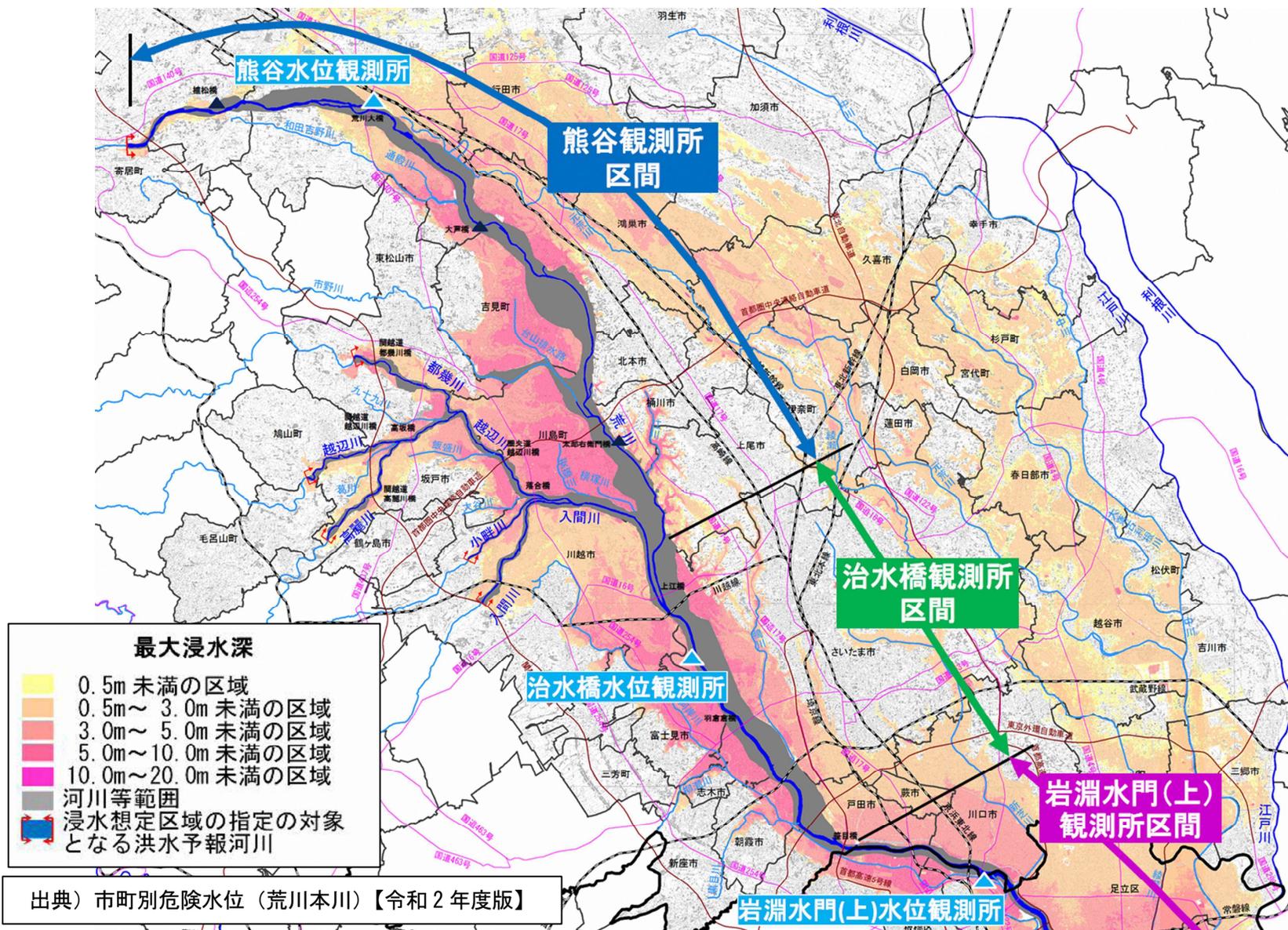
＜参考＞時間軸選択図はどう見るの？

- ◎洪水ハザードマップは複数の川（荒川・入間川・越辺川・小畔川・都幾川・高麗川）の氾濫を重ね合わせたものです。
- ◎さらに、川の上流や下流など決壊する場所によって、氾濫する範囲が異なってきます。
- ◎図は、住んでいる場所が「どの川の・どの水位観測所の受け持ち区間内で氾濫した場合に浸水が想定されているか」を表しています。
- ◎29ページで、住んでいる場所に該当する水位観測所に定められた基準水位を確認しておきましょう。
- ◎また、氾濫発生までのおおよその時間は、氾濫危険水位を設定する際に定めているリードタイムによるものです。

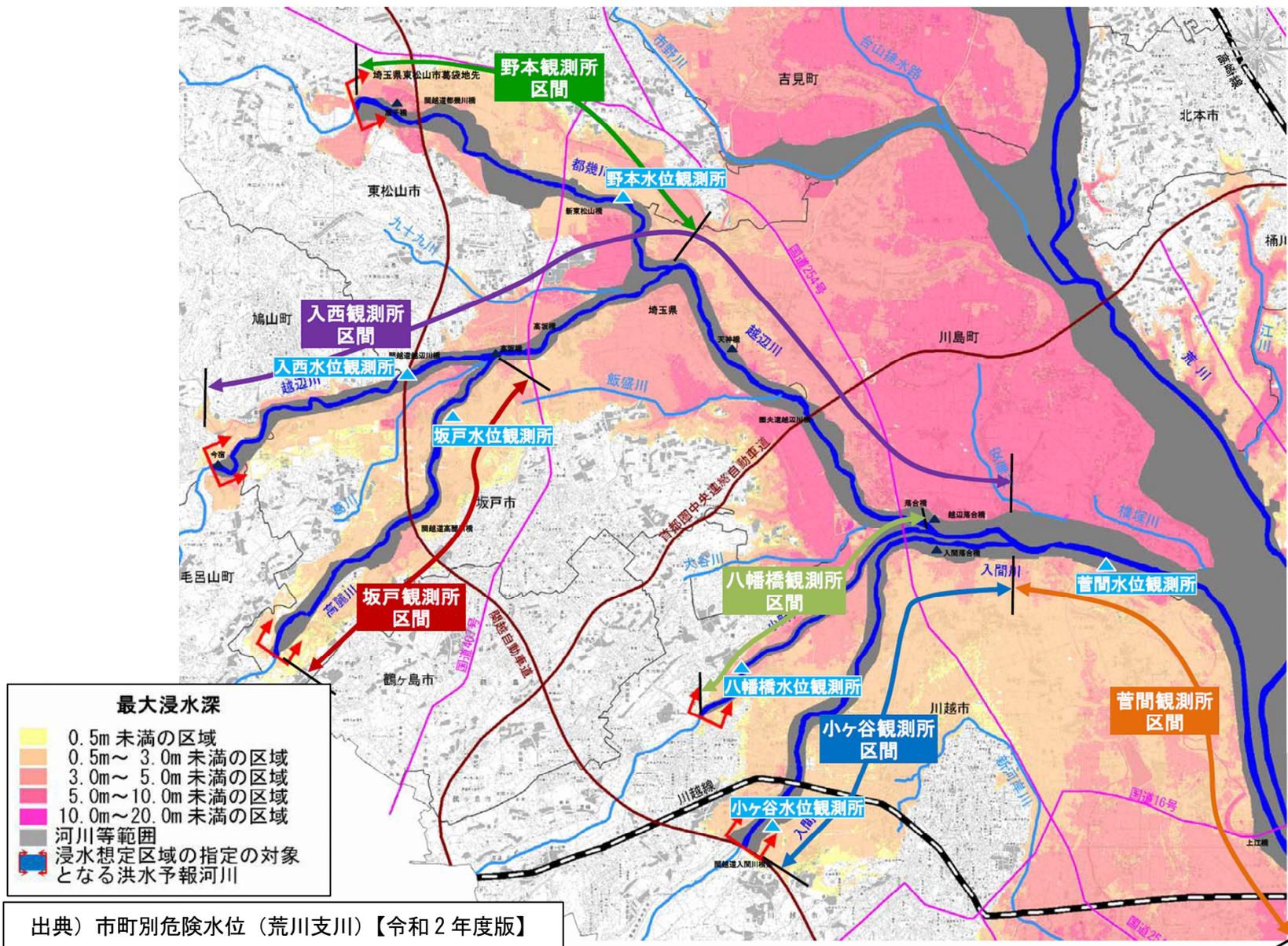
【時間軸選択図上の色と、受け持ち区間内で氾濫した場合に住んでいる場所の浸水が想定される水位観測所一覧】

No	時間軸 選択図 上の色	荒川		入間川		越辺川	小畔川	都幾川	高麗川
		治水橋 水位 観測所	岩淵 水門 (上) 水位 観測所	菅間 水位 観測所	おがや 小ヶ谷 水位 観測所	につさい 入西 水位 観測所	やはたばし 八幡橋 水位 観測所	のもと 野本 水位 観測所	さかど 坂戸 水位 観測所
1		●							
2		●		●					
3		●		●	●				
4		●	●	●	●				
5				●	●				
6				●	●	●	●		
7				●	●	●	●		●
8				●	●	●	●	●	●
9					●				
10					●	●	●		
11					●	●	●		●
12						●			
13							●		

※水位観測所、水位観測所の受け持ち区間については次ページの参考図を参照



参考図一 水位観測所、水位観測所の受け持ち区間 (荒川本川)



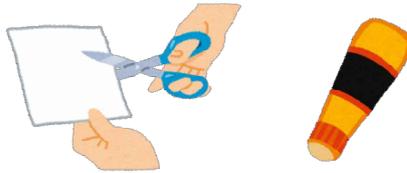
参考図－水位観測所、水位観測所の受け持ち区間 (荒川支川)

⑥ 私と家族の行動（避難行動のタイミング）は？

やること：

避難完了までに行う「行動」と「タイミング」を決め記入

別添「主なそなえの例」を切り取り（シールが入っていればシールを）、貼り付けてもよいです



考え方のポイント！

資料3の「②家庭の状況チェック：避難に支援が必要な人」、「③避難先のチェック：避難する場所までの移動時間」、「記入した時間軸」、「国・県・市・町・村から発信される情報」、「台風が発生してから川の水が氾濫するまで」、を参考に考えてみよう。



わからない時は、本手引き1.4のマイ・タイムラインの作成例を参考に考えてみよう！

※住んでいる場所の位置などによって、避難のタイミングは異なってくると考えられますので、行政からの情報を待たずに避難できるよう、避難行動のタイミングを話し合っておきましょう。

参考にするもの：資料3「マイ・タイムラインを

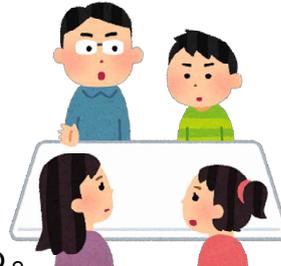
つくってみよう」

書くところ：資料3の「主なそなえ」

ちいき
⑦地域での活動は？

やること：

まずは自分の命を守ることが最優先ですが、地域の人々との助け合いについても、いつ、何をするか、家族やご近所で話し合っておきましょう。



□近所に手助けが必要そうな人はいるか。

□近所にもあわせて避難の呼びかけをする。

□情報を得ることが難しい人に対し、自分が入手した情報を教えてあげる。

さんこう
参考にするもの：かぞく きんじょ はな あ
家族やご近所との話し合い

しりょう おも
書くところ：資料3の「主なそなえ」

に ^{かくにん}
逃げるまでにこれを確認しよう

^{かくにん}
天気を確認する

■ 台風の情報 ^{じょうほう}



テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、^{よほう}気象庁のホームページにアクセスすれば、^い台風の位置や強さ、^い今後の台風の進路や^{ぼうふういき}暴風域などを^{かくにん}確認できます。

^{きしやうちやう} 気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jp/typh/
------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

■ 雨の情報 ^{じょうほう}



パソコン、スマートフォン・^{けいたい}携帯電話で、^{ぼうさい}川の防災^{じょうほう}情報ホームページ、^{きしやうちやう}気象庁ホームページにアクセスするか、^{そうごう}NHK総合テレビのデータ放送を見ると、^{かん}雨に関する警報などや^{けいほう}雨量観測所のリアルタイム情報、^{じょうほう}レーダ雨量(XRAIN)情報などを見ることができます。
^{うりやうかんそくじよ}雨量観測所のリアルタイム情報は、^{あらかわ}荒川^{かせん}上流河川^{じむしょ}事務所ホームページでも確認できます。

^{ぼうさいじょうほう} 川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/
^{あらかわ} 荒川 ^{かせん} 上流河川事務所 ホームページ	https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index004.html



^{ぼうさいじょうほう}
川の防災情報
ホームページ



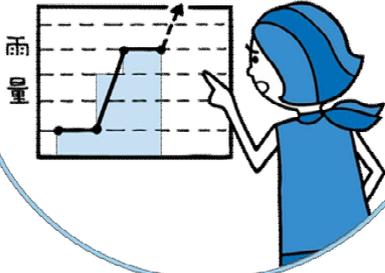
^{きしやうちやう}
気象庁
ホームページ

^ふ上流部に降った雨は、やがて下流に流れますので、あなたの家の近くの川の^{すい}水位も^{じょうしやう}上昇する可能性があります。^か上流部の雨の^{じやうきやう}状況も^{かくにん}確認するようにします。

すいい かくにん
川の水位を確認する

じょうほう
川の情報

雨が強くなって
きたけれど、
川の水位も上がってるかしら？

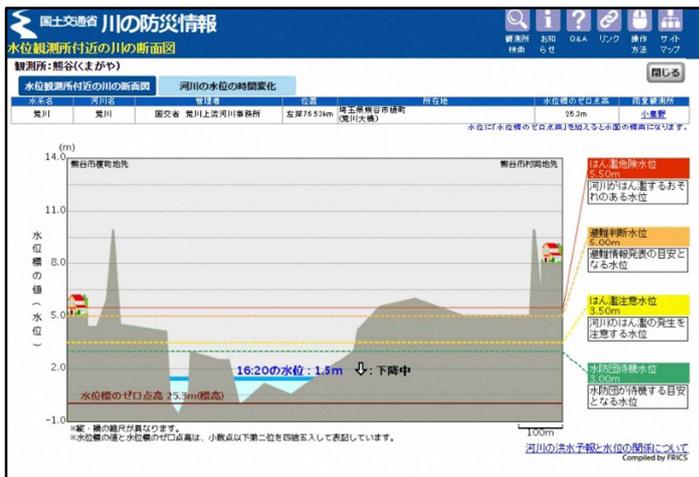


パソコン、スマートフォン・携帯電話
で、川の防災情報ホームページ、荒川上
流河川事務所ホームページにアクセスす
ると、水位観測所のリアルタイム情報、
河川の洪水予報を確認できます。

NHK総合テレビのデータ放送でも、
水位観測所のリアルタイム情報を確認
できます。

パソコン、スマートフォン・確認電話
で、荒川上流河川事務所ホームページに
アクセスすると、荒川のライブ映像を見
ることができます。

ぼうさいじょうほう 川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
あらかわ かせんじむしょ 荒川上流河川事務所ホームページ	https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index004.html



ぼうさいじょうほう
川の防災情報ホームページ
すいいかんそくじよふん だんめん
(水位観測所付近の川の断面図)

あらかわ かせんじむしょ
荒川上流河川事務所ホームページ
(ライブカメラ)



■ 避難に役立つ情報を確認しよう！！

災害が発生し、危険なときは市町村から避難指示等
がでます。

テレビやラジオ、インターネットや防災行政無線などで正しい情報を確認し、避難してください。



警戒レベル	住民の皆さんが とる行動	避難 情報等	水位の 名称 (洪水予報 の標題)	荒川 治水橋 水位 観測所	荒川 岩淵 水位 観測所	入間川 菅間 水位 観測所	入間川 小ヶ谷 水位 観測所	越辺川 入西 水位 観測所	小群川 八幡橋 水位 観測所	都幾川 野本 水位 観測所	高麗川 坂戸 水位 観測所
5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 ※1	氾濫発生 情報	越水(河川水位が堤防高を超えること) 破堤(洪水等により堤防が破壊されること)							
4 危険な場所から 全員避難!	速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、住んでいる場所より安全な場所に避難しましょう。	避難指示	氾濫危険 水位 (氾濫危険 情報)	水位 12.7m	水位 7.7m	水位 12.0m	水位 3.3m	水位 3.2m	水位 4.2m	水位 4.1m (3.7m) ※2	水位 3.4m
3 危険な場所から 高齢者等は 避難!	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者 等避難	避難判断 水位 (氾濫警戒 情報)	水位 12.2m	水位 6.5m	水位 11.5m	水位 2.9m	水位 3.0m	水位 3.6m	水位 3.7m (3.2m) ※2	水位 2.8m
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨 注意報等 (気象庁が発表)	氾濫注意 水位 (氾濫注意 情報)	水位 7.5m	水位 4.1m	水位 8.0m	水位 2.5m	水位 3.0m	水位 3.5m	水位 3.5m (3.2m) ※2	水位 1.5m
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意 情報 (気象庁が発表)	水防団 待機水位 (-)	水位 7.0m	水位 3.0m	水位 7.0m	水位 2.0m	水位 2.0m	水位 3.0m	水位 2.0m	水位 1.0m

- ◆ 市が発令する避難情報は河川の水位、気象状況、時間帯等を総合的に判断し発令します。
- ◆ 避難情報を発令するタイミングは必ずしも上記のとおりにならない場合もあります。
- ◆ 警戒レベル1～5は必ずしも順番に、すべて発表されない可能性があります。
- ※1 緊急安全確保は、災害が実際に発生していることを市が把握した場合、可能な範囲で発表します。
- ※2 ()の水位は本復旧工事完了までの暫定基準水位

また、大規模な災害が発生した際、**渋滞の発生や通行止め、迂回路の設置など、普段とは違う交通状況になる**ことがありますので、市町村や都道府県、日本道路交通情報センターホームページで、**現在の交通情報を確認**してください。



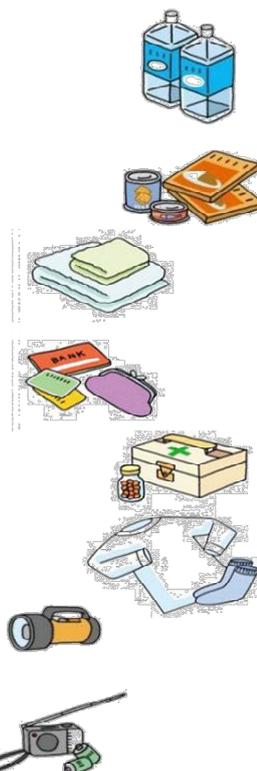
出典：日本道路交通情報センター

さいたま 埼玉県ホームページ	https://www.pref.saitama.lg.jp/
こうつうじょうほう 日本道路交通情報センターホームページ	http://www.jartic.or.jp/

■いざという時のための防災グッズをそろえておこう！！

家族と相談しながら、リュックなどにまとめておきましょう。

- ・水、食料（湯水がなくても食べられるもの）
- ・薬（お薬手帳）
- ・保険証・母子手帳
- ・現金・通帳・印鑑
- ・携帯電話＋充電器
- ・着替え（3日分はあるとよい）、靴
- ・タオル
- ・汗拭きシート（お風呂に入れない場合に備えて）
- ・懐中電灯
- ・ビニール袋
- ・歯ブラシセット・洗口液
- ・生理用品やコンタクト洗浄液
- ・入れ歯や眼鏡・コンタクトレンズ
- ・思い出の品（写真など）



■平成30年7月豪雨で実際に避難をした方の意見

- ・避難時に濡れた場合は着替えが必要
- ・子どもを預ける場所がないから、子どもの喜ぶものがあつたほうが良い

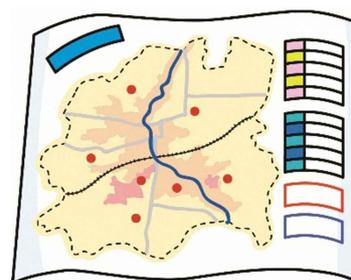


■ハザードマップを確認しよう！！

ハザードマップは、川から水があふれたときにどの地域が危険なのかを色で示したものです。

住んでいる場所や学校などはどうでしょうか。

避難所やそこまで行く安全なルートなど、前もって確認しておきましょう！



ハザードマップ
ポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

■ ^{ひなん}避難するときには^{ぐつ}長靴はダメ！！

^{ぐつ}長靴に水が入ると、重たくなります。

水に強いと思われがちな^{ぐつ}長靴ですが、動きづらくなる場合があるので、^{ひなん}避難するときには^{ぐつ}長靴をはくのはやめましょう！



■ ^{はんらん}氾濫水はにごっている！！

^{はんらん}氾濫水は茶色くにごっていて、

- ・水路と道路の^{さかい}境
- ・ふたが開いているマンホールの^{あな}穴

は見えません。

やむを得ず^え水の中を^{いどう}移動するときには、

^{ぼう}棒で^{かくにん}足下を確認しながら^{いどう}移動しましょう。



マイ・タイムラインを使用する際には、次の心得をふまえて行動してください。



- 心得 1 あくまで行動の目安として認識する。
- 心得 2 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得 3 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

洪水はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません!

洪水によって異なります

台風の進み方
雨の降り方
川の水位の上がり方
氾濫した際の浸水深
氾濫した際の浸水継続時間

洪水に応じて臨機応変に
発表・発令されます

気象警報の発表
洪水予報の発表
避難情報の発令



洪水に応じて臨機応変に
対応しましょう

みなさんの
備え



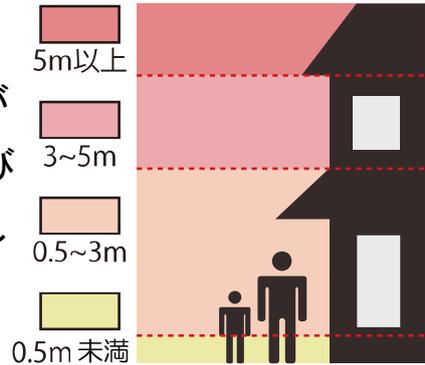
マイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではありません。家族が増えたとき、職場や学校が変わったときなど、環境の変化に応じて、あらためて見直し、必要な防災行動を追加していきましょう。



浸水想定区域図ってなに？

【洪水浸水想定区域図（想定最大規模）】

- 想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深などを図示したもの



【洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）】

- 浸水深が0.5mになってから0.5mを下回るまでの時間を図示したもの
- 浸水深と合わせて垂直避難の可否や避難先の検討等に活用することが考えられる
- なお、浸水が長期にわたると想定される地域で、立退き避難せず住んでいる場所の2階等に待避した場合の問題点等は以下の通り



- 水深が深い場合には、家から外へ出られない
- 備蓄していても水や食料等がなくなる
- 病人が出た場合に対応が難しい
- 電気、ガス、水道が止まり生活環境が悪化する可能性がある
- 停電等により情報を得ることができなくなる

出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成 28 年 4 月国土交通省水管理・国土保全局]

こうずいしんすいそうていくいき ず かおくとうかいたうはんらんそうていくいき はんらんりゅう かがんしんしょく
【洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)、(河岸侵食))】

- 堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食で家屋の倒壊・流失が発生することが想定される区域を図示したもの

はんらんりゅう
〈氾濫流〉
 ていぼうけっかい ともな はんらんりゅう もくぞう
 堤防決壊等に伴う氾濫流で木造家
 屋が倒壊するおそれのある区域。
 早期の立退き避難が必要。




ていぼうけっかい
 堤防決壊による家屋の流出

かがんしんしょく
〈河岸侵食〉
 かがんしんしょく とうかい
 河岸侵食で家屋が倒壊するおそれ
 のある区域。
 早期の立退き避難が必要。




しんしょく
 侵食による家屋の流出

出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成 28 年 4 月国土交通省水管理・国土保全局]

自らつくるマイ・タイムライン作成の手引き

《埼玉県川越市版》

本書に掲載した地図の一部は、国土地理院の「基盤地図情報（基本項目）」を使用した。